

皆さんはどづきえますか？



2月15日に当事者・家族部会で今年度2回目の茶話会を開き、たくさん話題が出ました。

その中から、「障がいがある」、障がいを『持っている』という2つの表現を、障がい当事者は気にするのかわ？』という話題を、この記事で取り上げたいと思います。

茶話会に来た当事者からは、「特に意識していない」「途中で病気になる障がい者となったため、『持った』という表現の方がしっくりくる」「特に意識しなかったが『ある』を使った方が無難だと思う」などの意見がありました。

何気なく使っている言葉でも、相手にとっては気になる表現になっているかもしれません。言われる相手の立場になって一緒に考えてみることで大切なのだと思います。

『ある』『持っている』の使い方も正解はありませんが、ぜひ障がい者の立場になって、一緒に考えていただきたいと思います。

茶話会は今後も企画していきます。いろいろな話ができる場でですので、どなたでもお気軽にご参加ください。



テーブルごとにたくさんのお話と笑顔がありました

■問合せ先

障がい者基幹相談支援センター
☎ 055(262)1274